

- ALPS処理水について、2024年度第4回放出に向けたK1エリアC群及びD群、G4南エリアC群から測定・確認用設備C群への移送を6月7日に完了しました。また、2024年6月14日から測定・確認用設備C群の循環・攪拌運転を実施し、6月21日に試料採取を行い、採取した試料の分析を行っています。

<8月4日までにお知らせ済み>

- 採取した試料の分析結果から、放出基準を満足していることを確認しました。
 - ① 測定・評価対象核種（30核種）：告示濃度比総和「0.12」（1未満を確認）
 - 今回放出分より、2023年度の分析調査結果を踏まえ、原子力規制委員会の認可を受けた実施計画に記載されている選定フローに基づき、カドミウム113mを測定・評価対象核種に追加しています。（2024年8月1日公表済）
 - なお、カドミウム113mの分析結果は検出下限値未満でした。
 - ② トリチウム：20万ベクレル/ℓ（100万ベクレル/ℓ未満を確認）
 - ③ 自主的に有意に存在していないことを確認している核種（38核種）：全ての核種で有意な存在なし
 - ④ 一般水質（自主的に水質に異常のないことを確認）（44項目）：基準値を満足
- 外部機関（化研）の測定結果※も当社同様、放出基準を満足していることを確認しました。
- これを踏まえ、8月7日から、測定・確認用タンクC群からのALPS処理水の海洋放出（2024年度第4回放出）開始を予定しています。引き続き、ALPS処理水の安全な海洋放出を安定的に実施できるよう、緊張感を持って取り組んでまいります。

※ ①測定・評価対象核種（30核種）、②トリチウム、③自主的に有意に存在していないことを確認している核種（38核種）を測定

【参考】処理水ポータルサイト「測定・確認用設備の状況」ページ

TEPCO

- 測定・確認用設備、A・B・Cタンク群のALPS処理水の分析結果（トリチウム濃度・トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和）を掲載しています。

「ALPS処理水 海洋放出の状況」の画面イメージ



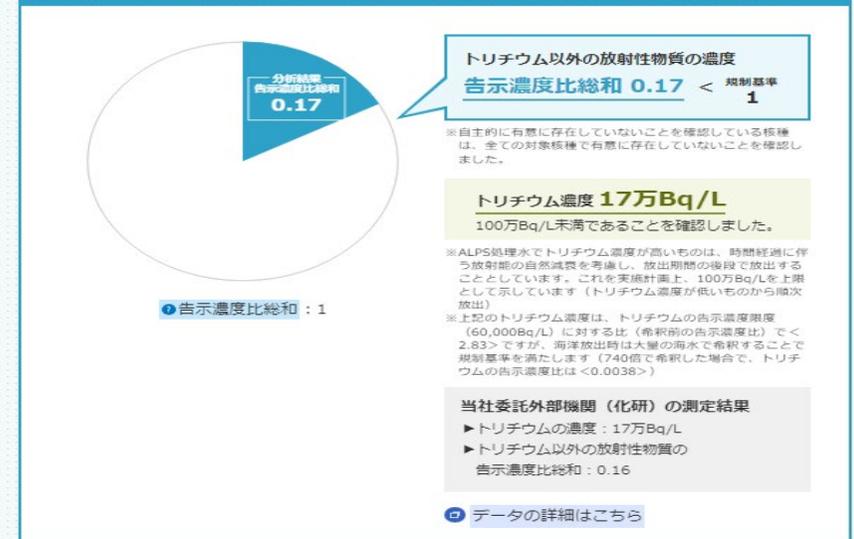
「測定・確認用設備の状況」の画面イメージ

測定・確認用設備の状況

測定・確認用設備は、タンク10基（合計容量約10,000m³）×3群に分け、それぞれ「受入」、「測定・確認」、「放出」の3工程をローテーションしながら運用します。



ALPS処理水の測定結果(2024年5月15日) ⇒ 放出基準を満足していることを確認しています



■ 処理水ポータルサイト 測定・確認用設備の状況

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility>

